

価値提供の思

中小企業の生存戦略

考

第8回 コスト最適と機械化①

○：リーマンショック 社会の価値観は変化により降、無駄の廃止により、今後ますますコスト重点目標に資源を集中させ、最適化の重要性を高めて、収益を高める「選択と集中」を戦略とする企業。また、人手不足解消をするため、「自動化」も新たな価値提供の必須要件としてこれからの潮流となる。



三枝国際特許事務所

中小企業
診断士

柚木 正人氏

自動化の流れは、これは、ほぼ自動化すること。当たり前だった作業が可能なため、業務一転して人手が不要な作業に変換する。この流れに対して、中小企業が現時点で即実行可能なことは、事務作業などのPCで行う業務の自動化だ。機械の作業速度が人の行う作業と同等以上になった時点で「人手に提供の必須要件」としてこれからの潮流となる。

それは、かつて電卓がエクセルに置き換わったことと同様であり、マニュアル化されている業務の自動化は加速される。これは、かつて電卓がエクセルに置き換わったことと同様であり、マニュアル化されている業務の自動化は加速される。これは、かつて電卓がエクセルに置き換わったことと同様であり、マニュアル化されている業務の自動化は加速される。

人手による作業の終点

ダイナミックな対応を

自動化の流れは、これは、ほぼ自動化すること。当たり前だった作業が可能なため、業務一転して人手が不要な作業に変換する。この流れに対して、中小企業が現時点で即実行可能なことは、事務作業などのPCで行う業務の自動化だ。機械の作業速度が人の行う作業と同等以上になった時点で「人手に提供の必須要件」としてこれからの潮流となる。

それは、かつて電卓がエクセルに置き換わったことと同様であり、マニュアル化されている業務の自動化は加速される。これは、かつて電卓がエクセルに置き換わったことと同様であり、マニュアル化されている業務の自動化は加速される。

刷新である。今後の業務効率化を図ることが、急速に市場を

次回、「コスト最適と機械化②」は6月15日掲載

日掲載